ナノテクノロジー・材料科学技術に関する研究開発施策の評価スケジュール

資料2-1

【ナノテクノロジー・材料科学技術に関する研究開発施策】

2009(H21) | 2010(H22) | 2011(H23) | 2012(H24) | 2013(H25) | 2014(H26) | 2015(H27) | 2016(H28) | 2017(H29) | 2018(H30)~

元素戦略プロジェクト〈産学官連携型〉※2009年度採択課題
希少元素・有害物質の代替、戦略的利用のための基盤技術の確立。

元素戦略プロジェクト〈研究拠点型〉（2012年度より10年間）
我が国の産業競争力強化に不可欠である希少元素の革新的な代替材料を開発するため、共同研究組織の密接な連携・共働の下、物質中の元素機能の理論解明・解析・特性評価を一体的に実施する。

ナノテクノロジーを活用した環境技術開発（2009年度より10年間）
異分野の人材が集結する研究拠点において、先端的な共用装置等を活用しつつ、太陽光発電、二次電池、燃料電池、光触媒等に関する基礎基盤研究の強化による技術シーズに開発とともに、先端環境技術に取り組む人材育成を実施。

東北発　素材技術先導プロジェクト
東北地方の大学や製造業が強みを有するナノテク・材料分野において産学官協働によるナノテク研究開発拠点を形成。

ナノテクノロジー・プラットフォーム（2012年度より10年間）
ナノテクノロジーに関する最先端の研究設備とその活用のノウハウを有する機関が協力して、技術領域に応じた全国的な設備の共用体制を構築するとともに、産学官連携や異分野融合を推進する。

大学発グリーンイノベーション創出事業（先進環境材料分野）
ナノテク・材料の教育研究環境の整備・運営や、情報共有、共同研究等により、構造解析や微細加工技術等の高度化を通して、先進環境材料の創製を目指す。

▼は中間評価、▼は事後評価